

山形歯科専門学校同窓会 第7回総会

令和元年6月9日(日)午後0時30分より「山形国際ホテル」において、山形歯科専門学校同窓会第7回総会が大貫英一山形歯科専門学校校長並びに奥山博和山形歯科専門学校前副校長を来賓にお迎えし、同窓生を合わせて30名の参加により開催された。

総会に先立ち、大貫校長と奥山前副校長よりお祝いのご挨拶を頂戴した。前回総会から2年ぶりの開催であり、平泉力副会長の座長の下、遠藤和子副会長の活動報告、協議として平成29、30年度事業報告、決算報告、新年度役員任命、令和元年、2年度事業計画(案)、予算(案)等について提案が行われ、満場一致で決議された。

引き続き開催された研修会は、各科同窓生による「歯科医療専門職として～今、思うこと～」と題して一人目は、歯科助手科第15期生、阿部真喜子氏、「歯科助手として生き残るには患者中心の医療を心がけ、自己目標を持ち1対1の患者担当制で医院のために何ができるかを常に考えること。そして自分で楽しく仕事をするのが大切である。」二人目は、歯科衛生士科第32期生、鎌水麻里氏、現在上山市役所勤務で「行政として法律に基づく事業を市民に向けて、他課とのプロジェクト業務等歯科的エビデンスを示して事業計画をし、歯科の重要性を発信していきたい。」三人目は、歯科技工士科第22期生、尾形清敏氏、近年歯

科技工所を開業し「日本顎口腔学会認定歯科技工士として、機能的な総義歯を目指して、理論的、数値的に立証された人工歯排列をする事により患者のクオリティ・オブ・ライフの向上に寄与したい。」と発表しそれぞれ短時間だったがとても充実した内容の研修会となった。



奥山前副校長への花束贈呈

懇親会では、富田滋山形県歯科医師会会長からのご祝辞、大貫校長の乾杯で和やかな宴となった。今まで副校長として同窓会の活性化にご尽力いただいた奥山前副校長へ花束を贈呈し宴席は更に盛り上がり、3科一緒にお互いの近況報告など楽しい時間をともにした。最後に各科から代表者がステージで懐かしい学生時代等思い出を述べ、最高潮の中、奥山前副校長の中締めで閉会した。

(歯科技工士科第3期生 鈴木 淳 記)



同窓生 講師3名
(左から尾形清敏氏、阿部真喜子氏、鎌水麻里氏)



懇親会集合写真